

from the good Earth

よいちだより「良い地より」

 vol. **8**
 2014.8

ぶどう畑が大きく拡がりました

昨年(2013年)の4,000本に続き、この春は10,000本の新苗を植えました。あわせて5.6ヘクタール。OcciGabi Wineryが立地する谷間の中で、ぶどうを植えることが出来る面積の半分以上を、ワインぶどうが覆ったことになります。5月下旬から7月初旬にかけて、120名以上の会員の皆様にお手伝い頂いてのことです。本当にありがとうございました。近い将来この畑から、約60,000本のワインが作られることを考えますと、自然心が躍ります。と同時に、この谷間の景観が一変しました。いかにもワイナリーという感じで、国内では他にない雰囲気的空間となりました。

OcciGabi Wineryは どのようなワイン作りを目指すのか

今年の植え付けで、自社ワインぶどうの作付けは次のようになります。

- ①カベルネ・クービン
- ②カベルネ・ドルサ
- ③カベルネ・ミトス
- ④パラス
- ⑤アコロ
- ⑥ピノ・ノワール
- ⑦レгент
- ⑧ケルナー
- ⑨ゲヴェルツ・トラミーナ
- ⑩ムスカテラー
- ⑪カベルネ・ブラン
- ⑫ピノ・シャルドネ

①から⑦までが赤ワイン用の品種で、そのうち①から⑤までの5品種はドイツが1999年に発表したカベルネ・ソーヴィニオンに準ずる味わいのぶどうです。私共は「ジャーマン・カベルネ」とグルーピングします。ジャーマン・カベルネは一品種よりは複数の品種を混ぜて(キュベして)作ると良いワインになる性質を持っています。⑧以降は白ワインの品種です。来年以降、赤ワイン用のザム

ト・ロートやドルンフェルダーも植えますので、量的には7割近くが赤ワインという構成になることでしょう。今迄北海道で、というよりは我が国で栽培されていなかった品種に積極的に挑戦していこう、という姿勢です。新樽熟成やビン熟成に適した品種が、この中に多々あります。北海道従来の並みワイン用品種から、高級ワイン指向への方向転換を目論んでいるともいえます。さればこそ大きな地下貯蔵庫を建てたのです。実際、余市川のほとりの谷あいにある余市・仁木地区に、近い将来30軒、50軒と私共同様のワイナリー群が勢揃いすると声高らかに宣言したのですから、この多品種の試みはリーディング・カンパニーたる私共の責務でもあります。

近代的ワイナリーに欠かせない 「ガーデニング」

今後5年、10年と経つうちに、日本中の多くの農村を大きな嵐が吹き荒れることでしょう。過疎化が急速に進み、住む人が殆んど居なくなる「限界集落化」現象が起こるのです。現在人口が20,000人の余市町や4,000人弱の仁木町も例外ではありません。この問題について意図的に議論を避けている人々が多い中、非常に真剣に考えている人々もいます。今回「6次産業化支援ファンド」を提唱した、農水省や財務省の方々はさすがによく分かっていらっしゃるようで、この3ヶ月の間に両省のかなりの地位の方々次々とOcciGabi Wineryを視察に訪れ、私共と大真面目に議論していかれました。私共のように外部からこの地に入ってきて、農業がベースの事業を営む者こそ、現状をよく理解しています。増え続ける耕作放棄地、極端な後継者難、現在の作物の先行き不安…。農業に立地する地域の再興は6次化しかないと思えます。農産物生産の第1次産業、それを加工する第2次産業、そしてそれを高付加価値的に販売・流通させる第3次産業。これらを併せた事業が6次化産業で、特に、地元で待ち受けて売るタイプの「在郷型6次化観光産業」まで事業の内容を高めますと、飲食業や宿泊業にまで派生して、地域に多くの雇用と事業収入を生み出します。田舎に都会人を迎え入れる。その時、周囲を美化することは

(ウラに続く)



必須です。本来農村は土いじりのエキスパートが集う所ですから、自分の敷地、自分達の集落の景観を美しく保つことは十分に可能なはず。「そんなことしても一銭にもならない」と考えるのは短絡的なのです。都会の人々が農村に來たりて感嘆した時、その農村の将来は約束されるのです。実はワイナリー経営はいにしえより「6次化」された産業でした。ワインぶどうが日本一植わっていて、もう既に一部が良き景観となっている余市・仁木地区に居るからこそ、私共も負けじと畑作り、庭作りに専心しているのです。OcciGabi Wineryのきれいな庭の第一期工事が了りました。是非お訪ね下さい。

次に成すべき、目の前のこと

余市から内陸へと真南に40km。冬場の4ヶ月はオーストラリアからの人々でごった返すニセコを中心地ヒラフ地区。この地の建物の多くがタイム・シェアリング型の貸し別荘です。この冬何度か体験宿泊しましたが、内部は私共の想像を超えて、かなり高級で満足度の高い造りとなっています。現在、このヒラフ地区の貸し別荘業大手の「北海道トラックス」と連繋して、私共もOcciGabi Wineryの谷間に同様のTimeSharingVillas(タイムシェア型別荘)

の建設を計画中です。詳細は次号(11月号)となりますが、きっと魅力あるものをご提案致します。ご期待下さい。

次々とワイナリー進出計画

丁度3年後に札幌から小樽を經由せずに高速道が余市につながります。所要時間は千歳→余市が1時間、札幌→余市は30分となるのです。それを受けてか、東京の「キャメル・コーヒー」が余市にワインぶどうの植えてある土地を大きく取得しましたが、私共から目と鼻の先の仁木町の土地を、他の東京の会社が買収交渉中です。この会社もワイナリーを計画中ですが、更にそのすぐ近くにもう1軒、本格ワイナリーを考えて土地買収交渉中の人が出て、これも東京の人です。昨年11月OcciGabi Wineryをオープンさせてから、週に一件以上の割合で、私共はこのような計画の相談を受けて参りました。経営計画の粗雑さとやり遂げる情熱の足りなさが原因で、私共が協力を断るケースも多いのですが、それでも、余市・仁木地区の「ナパ化」は着実に進行しています。私共自身がそうですが、真剣さと誠実さを持つ人々とは積極的に話し合うことにしております。余市・仁木が変わる、ということは、自分達自身の人生が変わることにほかならないからです。 落 希一郎

OcciGabi Hall

イベントの
ご案内

お問い合わせ
ご予約
承ります

- 8月9日(土) **サマー ジャズナイト**
ヴォーカル: マミコ・グレイス
演奏(トリオ): Three Cools(from Tokyo)
◆17:30よりディナー+コンサート 6,000円
◆19:00よりコンサート(コンサートのみは3,000円)
- 9月26日(金) **リュートのタベ**
リュート演奏: 永田斉子
◆18:00よりディナー+コンサート 6,000円
◆19:30よりコンサート(コンサートのみは3,000円)
- 11月8日(土) **ヴァイオリンとピアノのタベ**
出演 ヴァイオリン: ヤノシュ・マテー
ピアノ: 中川和子
曲目/C.フランク ソナタ・イ長調 他
◆17:30よりディナー+コンサート 6,000円
◆19:00よりコンサート(コンサートのみは3,000円)



お問い合わせ
ご予約

tel.0135-48-6163 / fax.0135-48-6164

携帯:090-6198-5501

E-mail occigabi@ae.auone-net.jp